

環境に係る情報協議会

国営施設応急対策事業 鳥沼宇文地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（中富良野町及び富良野市「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

中富良野町 大雪山国立公園の十勝岳連峰の近傍に位置し、雄大な景観とさまざまな野生動植物が息づく豊かな自然環境に囲まれている。これらの自然環境は、地域住民の生活を豊かにし、農地とともに農村景観を形作る要素となっている。

富良野市 大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園、東京大学演習林を有し、雄大な景観とさまざまな野生動植物が息づく豊かな自然環境に囲まれている。これらの自然環境は、地域住民の生活を豊かにするとともに、雄大な農地の背景を成す景観要素であり、彩り鮮やかに広がる農地と一体的に田園景観を形成している。

【課題】

中富良野町 自然環境や景観などの地域資源の保全に向け、様々な分野と連携し支え合っていく総合的な計画によって、有効な環境保護政策を進めていく必要がある。

富良野市 自然資源の積極的な保全と回復を行い、人と自然が共生できるまちづくりが重要であり、生態系を含めた多種多様な保全活動が必要である。

《環境保全の基本的考え方》（中富良野町及び富良野市「田園環境整備マスタープラン」より）

中富良野町 豊かな自然環境と農地の保全、快適な生活環境と生活基盤整備の調和を総合的に進めるため、人と環境を大切にされた施策を行っていく。

富良野市 森林及び農地の保全、魅力ある景観の創出の2つを基本方針に掲げ、豊かな「農村景観」形成の達成を目指すこととし、農業農村整備を実施する。

2. 環境配慮計画

《基本方針》

本地域の水田は、周辺の十勝岳連峰や多様な地形といった豊かな自然と調和し、美しい田園景観を形成しており、本地区を横断する河川等の水辺環境には、希少種を含む多様な動植物が生息・生育している。

したがって、本事業における工事の際にはこれらの生物の生息・生育環境の保全に努める。

《取組内容》

○生態系への配慮

- ・施設を改修する際は、近傍河川の魚類等の生息環境に配慮し、濁水流出防止施設を設置する。
- ・工事中は、周辺に生息する生物に配慮し、低騒音型施工機械を使用する。